

# 令和3年度 社会福祉法人 賀光会 ポプラ事業報告書

ポプラでは法人の理念、基本方針に基づき、利用者一人ひとりが輝き潤いのある生活を実現できるよう、日中活動の充実と安定した経営を第一の課題として、質の高いサービス提供と事業運営に努めてまいりました。

「楽しい時間が過ごせるプログラムの設定」や「個別支援計画に基づくサービスの提供」を基本姿勢とし、サービスの質の向上及び職員の資質向上に取り組みました。

新型コロナウイルス感染防止対策については、{3 安心、安全な支援と管理、(1)健康管理【新型コロナウイルス感染防止対策手順】}(7ページ)に基づいて、実施しました。

以下のとおり、令和3年度にポプラが実施した事業について報告します。

## 運営方針

- 1 総合的な福祉サービスの提供
- 2 喜びを実感できる生活の実現
- 3 安心、安全な支援と管理
- 4 専門性の向上
- 5 経営の安定、透明化
- 6 地域共生と情報発信

## 1 総合的な福祉サービスの提供

### (1) 生活支援

利用者の同意に基づいて作成した個別支援計画を基に、①生産活動、②創作的活動、③社会体験、④レクリエーション、⑤生活相談、⑥理学療法等のプログラムの提供と支援を行いました。

介助が必要な利用者には、排泄や更衣等の支援を行いました。

トイレ介助は男性利用者3人、女性利用者1人への支援を行いました。

### (2) 給食

個別支援計画を基に、障害の状況や病状に配慮した食事提供を行いました。

- ・希望があった利用者5人に、カット食での提供を行いました。
- ・体重の減量を目指す方には、揚げ物を「焼く」「蒸す」等の調理や汁物を通常の半分の量にする等、カロリー、塩分をカットして提供する支援を行いました。
- ・毎月1回、年間12回、給食委員会を実施しました。令和3年1月から新型コロナウイルス感染防止対策として、委員会には職員のみが参加し、利用者の意見を伝え、献立等に反映しました。また、嗜好調査は11月に実施しました。
- ・季節に応じたイベント食(月1回)、おやつ(月1回)、季節のメニューを次表のとおり提供しました。また、通常の食器が使いづらい利用者には、使いやすい取っ手付きの食器等を使用していただき、希望があった場合は給食の摂食介助を行いました。

## ●イベント食・季節のメニュー・行事食・おやつ

月	イベント食	季節のメニュー	行事食	おやつ
4月	中華バイキング (鶏のから揚げ、春巻き等)	菜の花ちらし寿司	花見弁当	シフォンケーキ
5月	かつおのタタキ 代替:(サイコロステーキ)			ワッフル
6月	天ざるうどん		バーベキュー	抹茶ケーキ 代替(青りんごゼリー)
7月	うな井 代替:(牛焼肉丼)	七夕そうめん		バニラアイス
8月	ざるラーメン			桃のタルト
9月	サイコロステーキ オムライス	お月見ハンバーグ	災害時備蓄食 (牛丼、ご飯、水・味噌汁)	おはぎ 代替(今川焼)
10月	天ぷら (秋尽くしメニュー)	ハロウィンメニュー		いもようかん 代替(スイートポテト)
11月	おでんバイキング (卵、大根、牛筋、牛蒡、 厚揚げ、竹輪等)	秋野菜メニュー (炊き込みご飯等)		きなこプリン
12月	クリスマスメニュー (サイコロステーキ、 グリルチキン、エビフライ等)		年忘れ会 (握り寿司、ヒレカツ等)	クリスマスケーキ
1月	すき焼き (一人鍋)			ぜんざい 代替(りんごのタルト)
2月	寄せ鍋 (一人鍋)	節分 巻き寿司	寿司会食	チョコレートケーキ
3月	海鮮丼 代替:(牛焼肉丼)	ひな寿司		おはぎ 代替(桃のタルト)

### (3) 連絡

- ・「お知らせ」については、印刷物を各利用者に配付しました。
- ・連絡ノートの使用希望者は、上半期8人、下半期8人でした。
- ・保護者会総会を7月11日(日)に実施しました。
- ・「ポプラフォトギャラリー」(利用者活動の写真)は、年2回作成しました。

### (4) 送迎

送迎サービスは、次表のルートで行いました。

また、この他に家庭の事情や悪天候時には希望された方に自宅への送迎を行いました。

【送迎ルート】		
	藤井寺駅への送迎	1人
	自宅等への送迎	10人

### (5) 個人情報の保護

利用者の個人情報は、個人情報保護規程を遵守しています。

令和3年度は、利用者個人情報の他者への提供していません。

## (6) 虐待の防止

障害者虐待防止法を遵守し、利用者の人権を尊重し、「威力・不適切行為（虐待）防止マニュアル」に基づき、利用者の人権擁護、虐待防止に努めました。

身体拘束について、毎日確認し、日誌にその状況について記載しました。

また、毎月開催の「身体拘束廃止委員会」に、その実施状況等を報告し、必然性について確認しました。

事例としては、粗暴行為や自傷行為があるときなどに、行動を規制しますが、本年は行動障がい（他害）のある利用者への行動抑止を行う等の身体拘束が5件ありました。

また、運営規程と行動規範に基づいて利用者への安心・安全なサービスの提供に努めました。

## (7) コンプライアンス（法令遵守）

理念、倫理綱領、行動規範、人権尊重やコンプライアンスへの職員の自己チェックについて、令和3年度は、様式変更を行い、各項目を年度を変えて実施することにして、今年度は理念、コンプライアンス（虐待防止等）の自己チェックを行い、職員の意識向上を図りました。

## (8) 災害対策

6月9日（水）に新型コロナウイルス感染防止対策を行って、昼間の火災を想定した避難・消防訓練を実施しました。消防の立ち合いは中止されていましたが、消防署から水消火器を借用し消火訓練を行いました。

9月3日（金）に新型コロナウイルス感染防止対策を行って、大阪府が主催する「大阪880万人訓練」にあわせて地震を想定した避難・消防訓練を実施しました。

また、同日に備蓄食料の賞味期限の確認と簡易テント、発電機、ヘルメット等の防災機器の点検と消防署から水消火器を借用し、消火訓練を行いました。災害時備蓄食（牛丼、ご飯、みそ汁、水）の食事体験を行いました。

## 2 喜びを実感できる生活の実現

### (1) 生産活動

生産活動は、利用者が働く喜びを実感し、やりがいを持って自己実現できる機会となるように創意工夫しました。

ア 引き続き3業者からの受託による作業を実施しました。内容は、木工用ボンドの袋詰め、文具糊の袋詰め、パタパタメモ帳、連絡ノートのカバー付け、ヘアピンの差し金揃えです。

イ 工賃は、工賃規程により作業参加回数を基礎として必要経費（両替手数料のみ）を、差し引いた額を計算し、利用者の希望により現金で支払いました。

売上額は、次表のとおりです。

【業者別年間売上】

令和4年3月31日現在（単位：円）

業者名	作業内容	売上額
関西ヘアピン	ヘアピンの差し金揃え	152,925
ナカイ	木工用ボンドの袋詰め、オイル容器のシール貼り、洗剤のシリンク入れ	44,641
ふぁんたじい	パタパタメモ帳、連絡ノートのカバー付け	59,635
合計		257,201

\*売上は、令和2年度(222,750円)と比べて増加しました。

(2) 創作的活動

ア 創作活動

利用者の希望や意見に基づいて、季節感を入れて創作活動を次表のとおり支援しました。

4月	壁面飾り「こいのぼり」
5月	壁面飾り「あじさい」
6月	七夕飾り（笹飾り）
7月	モール飾り「風鈴」
8月	ひまわりのフォトフレーム
9月	ハロウィン かぼちやの置物
10月	壁面飾り「みかん」
11月	秋の紙紐リース
12月	毛糸玉のクリスマスツリー
1月	福寿草の屏風飾り
2月	ペットボトルのスタンプ(菜の花)
3月	検温表作成

イ 陶芸クラブ

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス流行に関連して、ボランティアから活動辞退の申し入れがあったため、活動を実施しませんでした。

ウ 美術クラブ

利用者の希望や意見に基づいて、季節感を入れたカレンダー作りを次表のとおり支援しました

4月	こいのぼりと金太郎の5月カレンダー
5月	かたつむりの6月カレンダー

6月	七夕飾りの7月カレンダー
7月	盛夏、蚊取り線香の8月カレンダー
8月	ぶどうの9月カレンダー
9月	ハロウィンの10月カレンダー
10月	紅葉の11月カレンダー
11月	雪だるまの12月カレンダー
12月	お正月飾りの1月カレンダー
1月	節分、鬼の2月カレンダー
2月	イチゴとてんとう虫の3月カレンダー
3月	メダカの4月カレンダー

### (3) 社会体験

社会体験については、次のとおり実施しました。

ア 外出は、4月から5月にかけて、数人ずつに分かれてシュラホールまで、新型コロナウイルス感染防止対策を行って散歩外出をしました。

月1回、おやつ作りや調理体験の材料を購入する買い物を主とした外出を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施しませんでした。

イ 調理実習は、次表のとおり実施しました。

月	内 容
5月	流水麺のぶっかけうどん
11月	カップ麺

ウ おやつ作りは、次表のとおり実施しました。

月	内 容
4月	フルーツケーキ
6月	チョコクレープ
7月	アイスクリームのデコレーション
8月	カップケーキ
9月	フルーツサンド
10月	ヨーグルトパフェ
12月	食パンロールケーキ
1月	コッペパンサンド
2月	バナナサンド
3月	ゼリー・ア・ラモード

エ 花見は、令和4年3月下旬、桜の開花時期にあわせて行い、新型コロナウイルス感染防止のため、ポプラの室内から園庭の大きな桜を見ながら、おやつを提供し、利用者の皆さんに花見気分を味わっていただきました。

オ 正月外出は令和4年1月に、希望された利用者で辛国神社へ出かける予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止しました。

カ 社会体験は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止しました。

#### (4) レクリエーション

レクリエーションを生活支援の一環として位置づけ、日常と違った変化のある行事や活動をとおして、色々な場面で違った視点で支援することを目的として、以下のとおり実施しました。

プログラムについては、利用者の趣味や興味を取り入れた内容で、楽しみのあるものを提供できるよう、利用者自治会の意見を取り入れて策定しました。

ア DVD鑑賞(概ね週2回)

イ 誕生会(該当月に1回)

利用者の誕生月に、誕生を祝う会を月1回、計10回実施しました。

ウ 喫茶(月1回)

喫茶は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、毎月1回、計12回、ポプラ棟の方へ飲み物とお菓子の出前を行う出前喫茶を実施しました。

エ クイズ(概ね週1回)

オ カラオケ(令和3年度は、利用者からの希望がありましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため実施しませんでした。)

カ Wii・Switchゲーム(週1回)

新型コロナウイルスの感染防止対策を行った上で実施しました。

対策⇒・ゲーム機のリモコンを持つ方は、その都度、手指消毒を行いました。

・ゲームに参加する方は、マスクを着用して、およそ1.5mの間隔を空けて座りました。

キ 「第41回 賀光会バザール」の開催は、3密(密閉、密集、密接)を避けた実施が難しいと判断し、令和4年度に延期しました。新型コロナウイルスの感染防止対策を行ったうえで、11月12日(金)に「ミニフェス2021」を実施し、ゲーム等で楽しみました。

#### (5) 生活相談

生活上の悩みや相談のある利用者には、第三者委員による巡回相談を8月を除く偶数月に行いました。令和3年度は、計5回実施しました。

毎月1回、生活相談員に来ていただき、相談していただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大予防対策のため、相談員の勤務先から他施設への訪問が禁止されたため、行われませんでした。

## (6) 理学療法

理学療法士による理学療法を毎週木曜日の10時30分から11時00分まで希望される利用者を実施し、集団を対象としたプログラムで、身体機能の維持を図りました。上半期に22回 下半期に22回の合計44回実施しました。

また令和3年2月からと6月からの二人の利用者に、理学療法士による個人プログラムの提供を、週1回30分間ずつ行いました。

## (7) ひまわりの会（利用者自治会）活動

毎月1回と総会1回の計13回、実施しました。利用者が主体的に活動し、おやつ作り、創作活動、社会体験や趣味及び興味を取り入れた楽しみのあるプログラム（DVD鑑賞）の内容等を検討しました。

事前に役員会を開催し、利用者の中から選ばれた役員間で議題について話し合いを行いました。

また、会議の進行は会長が務め、職員は事務局として運営をサポートする支援を行いました。

会議では、新型コロナウイルスの感染防止対策としてマスクを着用し1.5mの間隔を空けて座りました。

## 3 安心、安全な支援と管理

### (1) 健康管理

利用者の現状を把握し、疾病についての情報を全職員で共有し、健康増進を図りました。

ア 体重測定を毎月1回実施し、記録管理を行いました。

イ 11月にインフルエンザの予防接種を利用者、職員に行いました。

ウ 家庭で新型コロナウイルスワクチン接種会場へ付き添いできない一人の利用者の方へ、ワクチン接種会場への付き添い支援を行いました。

エ 近隣のクリニックでの健康診断の予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため実施しませんでした。

オ 7月に歯科検診の予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施しませんでした。

また、家庭で歯科通院付き添いができない一人の利用者の方へ歯科通院付き添い支援を行いました。

カ 新型コロナウイルス感染防止対策を実施しました。

#### 【新型コロナウイルス感染防止対策】

- ・外出から帰った時や食事前に手洗い、うがい、手指消毒の実施を呼びかけました。
- ・職員は、毎日検温して、発熱していないかどうか確認しました。
- ・利用者には、毎朝、自宅での検温を行っていただき、体温が37.5度以上の方には利用を控えていただくように依頼しました。
- ・来訪者の受付時に、検温による発熱確認とその記録を行いました。
- ・作業棟は、午前と午後に1回以上窓を開けて換気を行いました。
- ・利用者へ、マスク着用の注意喚起を行いました。

- ・手すりやドアの取っ手等は、午前と午後に各1回以上、アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒を行いました。
- ・飛沫防止アクリル板は、毎日1回拭き取りを行いました。
- ・車両の使用前と使用後には、アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒を行いました。
- ・大阪府の要請により、2週間に1回、職員のPCR検査を行いました。

## (2) 環境衛生

新型コロナウイルス感染防止対策、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策を徹底しました。

また、厚生労働省から発出された「社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応の徹底について」を受け、新型コロナウイルスに関するマニュアルに基づいて、感染症対策を徹底しました。

- ア インフルエンザ等の感染症の発生があった場合に、感染の広がりが最小限となるように対策をしました。
- イ トイレ、多目的室、手すり等を毎日清掃しました。  
新型コロナウイルス感染防止対策として、手すり、ドアノブ等の多くの利用者や職員が触るところは、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを使った消毒回数を増やし、1日4回以上実施することにしました。
- ウ 通所時には、靴の底、車椅子のタイヤの消毒を行いました。
- エ 飛沫防止対策として、各テーブルに飛沫防止のアクリル板を設置しました。

利用者、職員ともにインフルエンザ、ノロウイルスの感染者はいませんでした。他所での新型コロナウイルスの発症に伴う濃厚接触者に利用者2人の方と家族の発症に伴う濃厚接触者に職員一人が、保健所から指定を受け、1週間静養しましたが、発症はありませんでした。また、感染元不明ですが職員一人が、新型コロナウイルスを発症し隔離静養をしました。しかし、利用者への影響はありませんでした。

## 4 専門性の向上

### (1) 職員研修

職員の資質を向上し、サービスの質を高めるため、職域内研修と職域外研修を次表のとおり実施しました。多くの職域外研修が新型コロナ感染防止対策のため、リモート研修となりました。

#### 【職域内研修】（延べ36人）

	研修内容	延べ参加人数
①	新型コロナウイルス等感染拡大の防止についての研修 (4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月, 1月, 2月, 3月)	29人
②	感染症、食中毒予防対策 (1月)	3人
③	理念研修 (3月)	2人
④	人権研修 (3月)	2人

【職域外研修】（延べ28人）

	研修内容	回数	延べ参加人数
①	基礎(強度行動障がい支援・対人援助・自閉症)	3	13人
②	人権(1月 藤井寺市)(2月 藤井寺施設連絡会ダイバーシティ)	2	7人
③	地域(藤井寺市施設連絡会定例会議 日中部会)	6	6人
④	医療(感染症・食中毒予防対策)	1	1人
⑤	運営(大阪しあわせネットワーク)	1	1人

(2) 各種マニュアルの点検、整備

危機管理マニュアルの点検を行いました。

(3) 苦情解決

苦情・要望については、ホームページで公表し、苦情解決システムの適切な活用を図るとともに、第三者委員による巡回相談の機会の提供を行いました。また、苦情をニーズとして受け止め、サービスの質の向上に努めました。

令和3年度は、要望が2件、苦情が1件あり、対応しました。

(4) リスク管理

危機管理マニュアルに基づき、ヒヤリハットや事故について報告書を作成し、その内容を毎月の職員会議で報告し、原因や防止方法を検討することで、再発の防止に努めました。

- ・ヒヤリハット 12件(興奮・転倒・異物混入他)
- ・事故報告 4件(転倒2件 怪我2件)

(5) サービスの質の向上

サービスの質の向上と職員間の連携を図るため、支援会議を毎月1回、計12回実施し、ケース会議を、毎月1回、計12回実施しました。

令和3年度2月に利用者満足度調査を行いました。

5 経営の安定、透明化

(1) 利用者の募集

地区自立支援協議会に参加し、事業所のPRと共に利用者募集に努める予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、協議会の開催はされず、PRを実施できませんでした。

また、新型コロナウイルス感染防止対策のため、大阪府立西浦支援学校への訪問は、行えませんでした。

## (2) 入退所

新規契約は、ありませんでした。

退所については、他の事業所と連携を計り、利用者の希望に応じた事業所または相談機関への引き継ぎを行いました。

令和3年度は、男性の方1人(8月20日付)が退所されました。

退所理由は、自宅近くの事業所(就労継続B型)を希望されたためです。

## 6 地域共生と情報発信

### (1) 社会貢献

藤井寺市社会福祉施設連絡会の定例会に参加しました。

### (2) 地域貢献

ア 藤井寺市障害者支援会議(自立支援協議会)に参加しました。

イ 災害等の緊急時に避難場所として地域に開放できるよう、備蓄食の補充を行いました。

ウ 賀光寮で受け入れた四天王寺大学の10日間福祉実習生2人、23日間福祉実習生2人計4人の受け入れを行い、ポプラで体験実習をしていただきました。

エ 西浦支援学校が行う「夏季施設実習」として、高等部の生徒の受け入れはありませんでした。

オ 中学校等の職場体験は、学校側の新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止となりました。

### (3) 地域交流

地域の一員として、交流を促進するとともに地域福祉の向上を図るため、次の行事に参加予定でしたが、多くの行事等が新型コロナウイルス感染防止対策ため中止となりました。

ア 「第41回 賀光会バザール」の開催は、3密(密閉、密集、密接)を避けた実施が難しいと判断し、令和4年度に延期しました。

イ 地域と協働した「もちつき大会」(12月)を、新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止しました。

ウ 南藤井寺ふれあい祭り(南藤井寺地区主催)(8月)等の地域行事は、新型コロナウイルス感染防止対策として中止されました。

エ 「藤井寺市障害者施設連絡会主催の運動会」(10月)は、新型コロナウイルス感染防止対策として中止されました。

オ 「赤い羽根共同募金」(10月27日)の街頭募金活動には、職員のみ参加しました。

カ 陶芸ボランティアについては、新型コロナウイルス流行に関連し、ボランティアから活動辞退の申し入れがあり、活動を実施しませんでした。

#### (4) 広報活動

地域の一員として、施設機能について情報発信し、協働して地域福祉の向上に努めました。

ア 広報誌「きずな」を賀光会として、第62号、第63号を発行しました。

イ 賀光会ホームページを、令和3年10月、12月に更新しました。

ウ 8月に「南藤井寺ふれあい祭り」(南藤井寺地区主催)等の地域行事に参加し、施設の広報を行っていましたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため開催されず広報できませんでした。

エ 藤井寺市役所で行われた「障がい者パネル展」(12月6日から10日)への参加は、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、参加しました。

オ 市民の障がい者への理解を深める「ふれあいキャンペーン」(12月3日)への参加を、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、参加しました。

7 統計（データはすべて令和4年3月31日現在のものです。）

(1) 入退所者の状況 (単位：人)

新規利用			退 所		
男	女	合計	男	女	合計
0	0	0	1	0	1

(2) 在籍状況 (単位：人)

男	女	合計
8	6	14

(3) 月別登録者数（月末） (単位：人)

年／月	利用者数	年／月	利用者数
R3/4	15	10	14
5	15	11	14
6	15	12	14
7	15	R4/1	14
8	15	2	14
9	14	3	14

(4) 利用実績（延べ人数）〔営業日数 241日：平均区分 4.5〕 (単位：人)

	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均利用者数
利用実績	0	422	952	1,359	268	12.5

(5) 年齢構成（平均年齢：男性 35.88 歳、女性 37.67 歳、全体 36.64 歳） (単位：人)

年齢	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	合計
男	0	3	2	3	0	8
女	0	1	2	3	0	6
計	0	4	4	6	0	14

(6) 障がい別人数 (単位：人)

	身体				知的	延べ人数 ( )は重複数
	聴覚	心臓	腎臓	肢体		
男	1	0	0	4	7	12(4)
女	0	1	0	4	5	10(4)
計	1	1	0	8	12	22(8)

(精神障がいのある方の利用はありません。)

(7) 障害支援区分別人員 (単位：人)

区分	3	4	5	6	合計
男	0	2	5	1	8
女	1	2	2	1	6
計	1	4	7	2	14

(8) 身体障害者手帳等級別人員 (単位：人)

	1級	2級	3級	合計
男	2	2		4
女	2	1	2	5
計	4	3	2	9

(知的障害との重複は7人)

(9) 療育手帳等級別人員 (単位：人)

	A	B1	B2	合計
男	6	1	0	7
女	5	0	0	5
計	11	1	0	12

(身体障害との重複は7人)

(10) 援護の実施機関別人員[合計14人] (単位：人)

機関	人数	機関	人数	機関	人数
藤井寺市	8	堺市	1	松原市	2
羽曳野市	1	河南町	0	柏原市	2

(11) 公益的事業の実施

事業	回数・人数
相談支援事業	0
しあわせネットワーク	0
藤井寺施設連絡会	6回・6人
生活困窮者就労訓練事業	0